

迫間文化会館等整備事業建築工事施工監理業務共同企業体取扱要綱

(目的)

第1条 この要綱は、迫間文化会館等整備事業建築工事施工監理業務(以下「業務」という。)に係る共同企業体の基本的要件、条件付一般競争入札(事前審査方式)参加資格審査及び条件付一般競争入札(事前審査方式)に関し必要な事項を定め、その適正な活用を図ることを目的とする。

(定義)

第2条 この要綱において、共同企業体とは、大規模かつ技術的難度の高い建築工事の施工監理業務の履行に際し、技術力等を結集して業務の安定的履行を確保するために自主的に結成される共同企業体をいう。

(基本的要件)

第3条 共同企業体は、次に掲げる要件のすべてを満たすものとする。

- (1) 共同企業体の構成員数は2者又は3者とする。
- (2) 各構成員の出資比率は、2者の場合は30%、3者の場合は20%以上とし、代表者の出資比率及び施行能力は構成員中最大とすること。
- (3) 各構成員は、志摩市競争入札資格者名簿に登載されており、かつ、一級建築士事務所登録を有している者であること。
- (4) 構成員のうち、代表者は、三重県内に本社(本店)及び一級建築士事務所登録を有し、一級建築士を3名以上有する者とし、代表者以外の構成員は、志摩市内に本社(本店)及び一級建築士事務所登録を有し、一級建築士を1名以上有する者とする。
- (5) 構成された共同企業体として建築士法に定められた一級建築士を各構成員ごとに1名以上有すること。

(共同企業体業務の指定)

第4条 当該業務の指定は、市長が志摩市入札審査会(以下「審査会」という。)の審査を経て行うものとする。

(共同企業体構成員の資格要件及び結成)

第5条 市長は、当該業務の共同企業体の構成員に適した資格要件を内申し、審査会に諮った上、適当であると認められたときは、当該業務の概要、資格要件、その他業務の施行に必要な事項を入札公告に掲示するものとする。

2 前項の規定により、資格要件があると認められた者は、任意に共同企業体

を結成するものとする。この場合、各構成員は2以上の共同企業体の構成員となることはできない。

(共同企業体の競争入札参加資格審査申請)

第6条 前条第2項により結成された共同企業体は、市長の指定する日までに次の書類を提出しなければならない。

(1) 共同企業体入札参加資格審査申請書【様式 - 2】

(2) 共同企業体協定書【様式 - 3】の写し

(3) 使用印鑑届【様式 - 4】

(4) 委任状【様式 - 5】

2 前項の申請事項に変更が生じた場合は、遅滞なく変更届【様式 - 6】を提出するものとする。

(共同企業体の入札参加資格確認)

第7条 市長は、前条により申請のあった共同企業体の入札参加資格要件を審査会に内申し、適当であると認められたときは、当該共同企業体の代表者に入札参加資格確認通知を行うものとする。

第8条 迫間文化会館等整備事業実施設計業務の受注者は迫間文化会館等整備事業建築工事施工監理業務の受注者となることはできないものとする。

附 則

この要綱は、平成25年5月1日から施行する。